

様式第3号

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		令和5年度 第1回川西市産業ビジョン推進委員会		
事務局 (担当課)		市民環境部 産業振興課		
開催日時		令和5年8月1日(火) 午前10時～午前12時		
開催場所		Web会議システム形式と対面形式の併用 (場所:川西市役所2階 202会議室)		
出席者	委員	佐々木委員長、吉田副委員長、時任委員(OL)、山本委員、木原委員(OL)、辻田委員、長濱委員、宮本委員(OL)、野原委員、西村委員		
	オブザーバー	藤森氏、高瀬氏、九鬼氏		
	事務局	市民環境部岡本部長、人見副部長、産業振興課田中課長、森田課長、田中主査、森本主査、飛田主事、松岡		
傍聴の可否予定		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1. 開会 2. 委員紹介 3. 議題 (1) 産業ビジョンの改定について (2) 現産業ビジョン(令和2～5年度)の評価指標と進捗状況 (3) 本市の現状(各統計データ) (4) 本市産業の課題と参考事例について 4. 閉会		
会議結果		別紙 審議経過のとおり		

審 議 経 過

事務局	<p>1 開会</p> <p>定刻になりましたので、ただ今より、令和5年度第1回川西市産業ビジョン推進委員会を開催いたします。</p> <p>私は産業振興課長の田中でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>本委員会は、川西市長より産業ビジョンの改定について諮問を受けていることを報告いたします。</p> <p>また、本委員会はオンラインと対面の併用で開催させていただいております。</p> <p>オンラインでご参加の方は、ご発言の際はミュートを解除していただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、オンラインで参加いただく委員は、会議開始前に「映像及び音声により委員本人であること」、「委員長及び委員間での映像及び音声の相互通信が適正に行われていること」の2点について、確認を取っております。</p> <p>次に本委員会は、委員長と委員10名のご出席をいただいておりますことをご報告いたします。</p> <p>また、専門的見地よりご意見をいただくため、3名のオブザーバーにご出席いただいております。</p> <p>本日の会議は、参画と協働のまちづくり推進条例に基づき、会議内容が傍聴できるものとし、公開のもと行って参ります。</p> <p>また、会議録の作成のため、当会議を録画・録音いたします。会議録の作成後、速やかに削除いたしますのでご了承のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、事前にメール送信させていただいた資料について確認いたします。</p> <p style="text-align: center;">＜資料確認＞</p>
事務局	<p>2 委員紹介</p> <p>それでは、委員の紹介に移らせていただきます。次第の裏面名簿の順に委員の皆様をご紹介させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">＜事務局から委員・オブザーバーの紹介＞</p> <p>続きまして、事務局をご紹介いたします。</p> <p style="text-align: center;">＜事務局挨拶＞</p>

	<p>それでは、議題に移らせていただきます。</p> <p>委員会規則第7条第1項の規定により、委員長に議長を務めていただくこととなっております。ここからの進行は佐々木委員長にお願いいたします。</p> <p>3、議題</p>
委員長	<p>ご指名いただきましたので、進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>これまでZOOMで熱心に議論してきましたが、今回は対面で進めることができるようになりました。新しい産業ビジョンに向けて活発な議論をお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って進行をさせていただきます。</p> <p>会議中、委員の皆さまからのご発言の際には、挙手いただき、こちらから指名させていただいた後にご発言をお願いします。オンライン参加の方は、挙手いただき、マイクをオンにしてご発言をお願いします。</p> <p>会議は12時までを予定しています。円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします</p>
委員長	<p>議題（1）産業ビジョンの改定について</p> <p>議題（1）産業ビジョンの改定について、資料1が提出されています。</p> <p>産業ビジョンの改定にあたり、大まかなスケジュールと改定のポイントについて事務局にとりまとめていただきました。</p> <p>では、事務局から資料に基づいて説明をお願いします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">＜資料1について説明＞</p>
委員長	<p>ご説明をありがとうございました。資料1について、ご意見・ご質問はございませんか。</p> <p>改定スケジュールはタイトですが、次回以降もよろしくお願いいたします。</p> <p>改定内容としては、第6次総合計画と擦り合せを行い、第3期中心市街地活性化基本計画終了後の動向を見据えるとともに、経済センサス等の統計データ更新や市で挙げられている重点指示事項を中心に検討を進めたいと思います。</p> <p>特にご意見がないようですので、次の議題に移らせていただきます。</p>
委員長	<p>議題（2）推進状況の報告</p> <p>議題（2）推進状況の報告について、資料2が提出されています。</p> <p>令和元年度に策定した「川西市産業ビジョン」について、令和2年度にさらに「ポストコロナを見据えた地域経済対策」を追加いたしました。</p> <p>それらの取組状況を事務局でとりまとめていただきました。</p>

事務局	<p>事務局から説明をいただきますが、項目が多岐にわたりますので、主に令和4年度の取組として特筆される部分や課題となる部分、令和5年度から新たに開始した事業など中心にご説明をいただくこととします。</p> <p>では、事務局から資料に基づいて説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">＜ 資料2について 説明 ＞</p>
委員長	<p>ご説明をありがとうございました。</p> <p>資料2について、非常に細かく多岐に渡っていましたが、ご意見・ご質問はございますか。</p> <p>特になければ、また後ほどでも気になる点などございましたら、振り返ってご意見をいただければと思います。次の議題に移らせていただきます。</p>
委員長	<p>議題（3）本市の現状について</p> <hr/> <p>議題（3）本市の現状について、資料3が提出されています。</p> <p>経済センサスを中心とした統計データをもとに本市の産業構造や産業特性について資料をとりまとめいただきました。資料を基に、本市の現状や課題について、ご意見等いただければと思います。</p> <p>では、事務局から資料に基づいて説明をお願いします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">＜ 資料3について 説明 ＞</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>資料3は資料2とも大きく関係しているため、あわせてご意見・ご質問をお願いします。</p>
副委員長	<p>全体的にいろいろな観点があると思いますが、とりあえず気づいたところから質問します。開業率の目標は6%とありますが、かなり高い目標だと思います。全国で最も高い福岡市で6.3%と言われており、IT系の企業を増やす施策に取り組まれています。高い開業率を掲げるのであれば、具体的な方向性を持っておられるかと思いますので、どのような起業者を増やそうと考えられているのか、例えばサービス業中心の想定なのか、あるいは違う部分を活性化しようとしているのか、その方向性を聞かせてください。</p> <p>また、観光動向では、コロナ禍で減っていますが、宿泊者数は結構増えているのが気になりました。GoToキャンペーンの影響もあったと思いますが、自然やスポーツ・レクリエーションの比率が上がっています。観光業の活性化の機会を見出されているようであればお聞かせください。</p>
事務局	<p>起業については、市の施策として新規出店の補助や起業に関するセミナーを実</p>

	<p>施しています。また、コワーキングスペースからビジネスに繋がるコミュニティの形成施策も行っています。委員がイメージされるような業種等のはっきりした方向性は決まっていますが、具体的にはサービス業が近いと思っています。</p> <p>先ほど課題の話もしましたが、起業の機運を高めていくことは非常に難しいと感じています。市に出来ることは、セミナー開催や補助事業がメインであり、そうした中で起業の機運醸成や方向性を示すことは課題と考えています。業種や起業の方向性は、市の中でも絞っていくべきだと思います。</p>
副委員長	<p>アクションプランで多様な働き方が求められていますが、なかなか働くことが出来ない方の在宅ワークセミナーが盛況だったということは、良い話だと思います。まだ理解が十分ではありませんが、川西市はベッドタウンとして支持されている自治体であり、大企業で働いている方が起業するのではなく、子どもから手離れした時の起業や、地域で何かしたい方が起業を考えているのかもしれない。福岡市はITコミュニティやエンジニアの方がいたため、その自発的コミュニティ活動を支援する形でトップダウンの施策が打たれ、全体的な機運醸成が図られましたが、川西市でも小さくてもムーブメントがあるのではないのでしょうか。そこを支援する方法もあると感じました。</p>
委員長	<p>今のお話に関係する委員は多いと思います。お気づきのことがあればお願いします。</p>
委員	<p>私は川西市内に住んでおり、子育てから手が離れた人や、50代後半から高齢の方が得意分野を活かして開業したいと考えているのではないかと感じます。そういう方に対して、伊丹市では小さな事務所を格安で貸し出しています。自宅で開業する方法もありますが、住宅地では不便なため、そういうことを川西市が支援すると良いのではないのでしょうか。</p> <p>また、観光動向について、令和元年には三田市と川西市はほとんど同じでしたが、三田市が戻ってきているのに川西市は戻っていないことが気になります。この差には理由があるのでしょうか。</p>
委員長	<p>観光については、先程副委員長からもご指摘がありましたので、後程論点としたいと思います。</p>
委員	<p>起業セミナーや開業率、多様な働き方についての私見ですが、資料2の2枚目、多様な働き方の推進については、社会的弱者と呼ばれる方へのセミナーが盛況だったということでした。その支援は大事ですが、支援すればするほど分業やジェンダーギャップが開き、障がい者の方が正規社員ではなくサポート的な業務に従事するのを促すという側面もあります。開業率では女性やシニアだけでなく、コロナ禍で兼業や副業の機運も出てきているので、ベッドタウンで会社員が多いことも含めて、会社で働いている人の兼業や副業を促すことも特色になるのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>起業に関しては、まだご意見のある委員もおられると思いますが、産業構造や</p>

事務局	<p>開業率、事業所数が減少する中での取組などは、重要なポイントだと思います。</p> <p>2点目の観光の動向についてはどうでしょうか。三田市と川西市の差なども含め、事務局からお答えいただけますか。</p>
事務局	<p>これは観光入込客数の推移で、年間1万人以上、または特定月に5千人以上の観光地を示すものです。三田市と川西市の差の評価はなかなか難しいところで、観光地、特に宝塚市などは大きく回復していますが、観光施設自体の規模感の差や集客数などによって、外出自粛の影響等があるのではないかと思います。</p> <p>三田市とはスポーツ・レクリエーションで差がありますが、三田市には有馬富士公園など大きな公園があり、イベントなどがあったのかもしれませんが、また、キッピースタジアム（城山公園野球場）には兵庫ブルーサンダーズもあります。川西市では今年度からようやく清和源氏まつりが復活しましたが、イベントでの出遅れは感じています。</p>
委員長	<p>他にご意見・ご質問があればお願いします。</p>
委員	<p>何のために起業をするのでしょうか。社会課題等に想いのある方は多いかと思いますが、起業の定義についてはいろいろあってよいと思います。自身の課題に対する市民起業家が出てきてもいいでしょう。例えば、特産品の創出や農業の担い手対策も含めて、農業では自分が作った農作物を売る流れが来ています。当社は農園を運営していますが、1年間で1万円という格安で多くの方に借りてもらって自給自足をされているが、売りたいというニーズもあります。そこでアグリベンチャーなどの起業を支援することは価値があると思います。重点項目の対策にもなるのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>起業や開業は大きなポイントになりそうです。次回以降に議論を深めていきたいと思います。</p>
委員	<p>資料3の7ページの事業所数の推移について、現状では約半数がサービス業であり、卸売・小売業や製造業がかなり減っています。また、倒産や廃業もあり、事業承継の課題もあると思います。サービス業は増えているので問題ないのかもしれませんが、製造業や卸売・小売業は、資料2の2ページ、3-1の2と3-2で補助金申請が少ないことと連動していると思います。製造業や卸売・小売業の事業継続に課題を抱えている事業者が、市役所や商工会にどのような相談をされているのか、見えにくいところかもしれませんが、意見の吸い上げはどのようにされているのでしょうか。今の動きを見ていると、サービス業やリーダー的な存在の企業家が賑わいを作っているように思いますが、従来からある事業者の課題の吸い上げをどのようにされているのか、また今後の重点についてお聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>製造業や卸売・小売業はかなり減ってきており、課題のひとつと感じています。これに対応する施策として事業承継支援は必要と考えています。しかし、市が実施している事業承継セミナーには参加される方も少なく、商工会の意見もお聞き</p>

<p>委員長</p>	<p>したいと考えています。センシティブなテーマでもあり、オープンなセミナーで事業承継の話をするのは難しいのではないかと感じており、セミナー以外に行政としての関わり方があるのか、市として検討している状況です。</p> <p>事業承継だけでなく、各事業者の実態や相談状況等、総括的・包括的なところを教えてください。</p>
<p>オブザーバー</p>	<p>国からも事業承継を支援してほしいと言われ取り組んでいます。この3～4年は事業承継セミナーを年1回開催していますが、1桁程度しか参加されません。事業承継セミナーで集客するというのも変な話ですので、今年からはセミナーをやめ、月1回の個別相談会を実施していますが、5月に1社、6月はなし、7月は1社あるかないか、といった状況です。実際に相談される方は少ないというのが実情で、商工会としても試行錯誤している状況です。</p> <p>事業承継の相談はドロドロした案件も多く、解決するかどうかわからないような案件もあります。それを一（いち）から中身を聞きながら進めています。事業承継は早めに来てもらわないと、来たときにはすでに遅いという場合もあります。引き伸ばしになっているケースがある一方、事業者によっては30～40代の時から子どもを経営者として育て、継がせているところもあります。ある程度規模感のある事業者は早めに事業承継されていますが、小規模なところは難しいようです。</p> <p>コロナ禍になってから開業希望者が増えました。開業支援セミナーはいつも定員オーバーな状態です。来られる方は、コロナ禍になって「何かしなければと思った」男性や「社会的な課題解決のために開業したい」という女性など様々です。ただ、現実と理想が乖離することもあり、ビジネスにまでなっていない方もおられます。商工会では今年も年3回、セミナーを実施する予定です。</p>
<p>委員長</p>	<p>事業所数の減少が各業種で目立っていますが、その実感や開業についてはどうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>川西市は製造業の割合が極端に低いまちです。大阪のベッドタウンとして開けてきたまちであり、加茂の南側と多田駅近辺に製造業が多くありますが、それ以外にはほとんどありません。また南側では経営者が高齢化し、施設も老朽化して廃業を考える人も少なくないようです。</p> <p>金融機関への事業承継の相談は圧倒的に製造業が多く、小売業やサービス業はいきなりやめる方が多い印象です。非常にセンシティブな問題であり、商工会へ事業承継相談には行きづらいと思います。また、従業員の不安や相談すると金融機関の融資がストップするのではないかとという危惧もあり、一般的に相談されることはあまりないと思います。それを汲み上げてしっかり対応するためには、金融機関と連携して引き合わせの支援などを行うことが必要だと思います。</p> <p>川西市の加茂あたりのイチジク畑は所有権が入り乱れており、売却して工場にしたくても地権者が多く調整できない状況です。イチジクを川西市の特産品とするなら、生産者が高齢化しているため、市が整理して若い人がイチジクを生産で</p>

<p>委員</p>	<p>きるように継承を支援することなどが必要ではないかと思ひます。</p> <p>有効求人倍率が1以下で働く場所がない状況なのに、事業承継支援を行っており、ミスマッチを感じます。この状況で新たな起業を促すというのは、既存事業をないがしろにするようなイメージを与えないでしょうか。ハローワークで事業承継も含めてマッチングをするようなことはできないのでしょうか。</p> <p>人口動態を見ると、高齢化率が高くなっています。65歳以上がベッドタウン世代のど真ん中になります。65歳以上の方はあまり働きたいと思っていないのではないのでしょうか。シルバー人材センターでも人手不足だと聞いています。60歳定年時代にはその後も働きたい方が多かったです。65歳定年になると働く気力がない方も多くなりそうです。働きたい方をどのようにつないでいくかも重要です。川西市の産業のあり方として、新たな産業をつくっていくことも大切ですが、既存産業をどうするかも大切で、そのためには金融機関などの連携が必要だと思ひます。連携についての考えがあれば聞かせてください。</p> <p>次に農福連携や農業連携についてです。今の福祉事業所の充足状況が分かるなら教えてください。A型、B型のような最低賃金が保証された状況で働くことができない方は多く、そういった働く場所を障がい者の方々にどれだけ提供できているのでしょうか。起業セミナーは盛況ということですが、そういう方に働く場を提供するマッチングも一つの方策だと思ひます。</p> <p>3点目に、川西市では生産緑地がどうなっているのか把握されているのでしょうか。2022年問題があり、法律ができて30年が過ぎましたので、対策を打たないと生産緑地がさらに減少しかねないと思ひます。生産緑地について、現状を把握されていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>生産緑地の2022年問題ではいろいろな取組を行いましたが、30年が経過して解除したいという方もおり、今年の2～3月頃には農地転用が進み、イチジク畑も減っています。今後も減る可能性があります。</p>
<p>委員長</p>	<p>生産緑地や福祉事業所の充足状況なども、次回以降にデータで出せるようなら出してください。</p> <p>既存事業については、新たなビジョンでどう打ち出していくべきでしょうか。新たにつくりあげていく部分と既存事業をより強固に維持していくという部分、そうした方向性が出てきたように思ひます。</p> <p>もうひとつ、マッチングという言葉で表現されていましたが、様々な主体をつないでいく仕組みが重要です。現行ビジョンでも書かれている内容ですが、より強く求められているのではないのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>まちなか交流拠点「マチノマ」は思ったより広く、駅直結で使いやすい場所にあります。現状の利用状況を教えてください。Wi-Fiも使えるし、ある程度の人数でイベントをすることも、コワーキングスペースとして使うことも可能だと思ひます。助成金が出ており、コワーキングスペースとの棲み分けというよりは、</p>

<p>委員長 事務局</p>	<p>協力することや上手に連携することが重要だと思いますが、どのように考えておられるでしょうか。</p> <p>マチノマの現状について、改めて回答をお願いできますか。</p> <p>マチノマは中心市街地活性化協議会が運営しており、月1回の起業相談会と、オブザーバーを中心とした「中心市街地なんでも相談会」を行っています。6月からはおやつミーティングと称して、中心市街地でやってみたいことを皆で共有する場も設けています。また、予約制で定員20名、10名以上であれば貸し切りもできる（今は無料）ため、打合せのほか、アートの絵手紙をつくったり、ウクレレを弾いたり、いろいろな使い方をされています。</p> <p>令和3年度に市が補助し、今も運営を支援しているピボット（Pivot）というスペースとの棲み分けについては、マチノマはまだ立ち上げたばかりで暫定的なルールによる使い方を検討しているところです。中心市街地のにぎわいづくりのため中心市街地活性化協議会でもイベントを行っており、マチノマはにぎわいづくり、ピボットはビジネス寄りの起業や連携が生まれればと考えています。しかし、コワーキングスペースの補助はフォローアップが難しく、今は家賃や回線使用料、人件費を補助していますが、再来年10月には終了します。引き続きピボットの運営者とは話を続けていますが、ビジネスの起業や、マチノマと連携したにぎわいづくりの取組など、その後の市の関わり方には難しさや課題も感じています。</p>
<p>オブザーバー</p>	<p>マチノマでなんでも相談会やおやつミーティングを開催していますが、施設は4月にできたばかりで、利用数は少しずつ増えており、ルールも見直しながら、どのような方に使ってもらえればまちなにぎわいにつながるのか検証しているところです。実際には交流施設のため、コワーキング利用はほとんどありません。ただ、まちなかでイベントをしたい、将来お店を持ちたいなど、私個人が受ける相談件数は増えており、私が女性のためか、女性からの相談が多くなっています。今は個人でお菓子をつくっており、いずれ店を開きたいが家賃はどうか、今は会社で働いているが辞めるための起業準備をしたい、といったものがほとんどです。今後の起業に向けたステップアップの準備の方が多いのですが、融資や店舗を持つにはハードルもあるようです。市の起業相談や商工会の起業支援セミナーを受けてはどうかと伝えていますが、やる気は盛り上がっているため、生業に向けたステップアップの伴走支援ができると、より起業が増えるのではないかと思います。</p> <p>ただ、中心市街地は家賃が非常に高く、ステップアップしたばかりの方がいきなりお店を持つにはかなりハードルが高く、家賃補助が終わったあとのことなどで悩んでいるため、そのあたりの支援ができればと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ここまで産業ビジョンの改定に向け、中心軸になるような論点を数多く出させていただきました。地域住民の生き方や働き方にも関わり、人口動態も見据えた議論になりそうです。</p>

	<p>それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議題（４）本市産業の課題と参考事例について</p>
委員長	<p>議題（４）本市産業の課題と参考事例について、資料４が提出されています。</p> <p>本市の産業の課題及び重点的に取り組むべき内容について、資料１で重点指示事項として事務局から説明していただきましたが、その具体的な施策展開の方向性や課題、他自治体の事例について資料４にまとめられています。</p> <p>それでは資料に基づいて説明をお願いします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">＜ 資料４について 説明 ＞</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>資料４について、ご意見・ご質問はありますか。</p>
副委員長	<p>１つめのガバメントクラウドファンディングについて、そもそもの狙いは何ですか。</p>
事務局	<p>市の社会課題解決を行う起業家の育成が主な目的です。</p>
副委員長	<p>お金を集めたいということではないとすると、何が期待されていると考えれば良いですか。</p>
事務局	<p>市として期待しているのは、市の課題解決です。例えば、あとに出てくるような障がい者の就業率の向上や北部の地域交通の改善など、社会課題の解決を期待しています。ガバメントクラウドファンディングは、課題に取り組むための資金調達の支援を市として行うものです。</p>
副委員長	<p>社会課題解決に取り組む人を市が全面的に支援するという前提があり、川西市や社会課題解決に関心を持つ方も協力してくれるであろう、という枠組みありきなのだと思いますが、例えば、福井県の取組で重要なことは、ガバメントクラウドファンディングを行っていることではなく、地元メディアや金融機関が一体的に取り組む、かつREADYFOR等も入ることで、福井県の皆でやる機運が生まれることでクラウドファンディングが出来ているのだと思います。神戸市の事例も、資金源とは別に、神戸市が実証実験の場を提供するから関心のある方に入ってほしいという枠組みになっています。皆で応援することで広く多くの方が参加できる仕組みになっています。何をやるのか、どんな形で応援をするのか、という体制は市が持っていることを前提として、その議論の捌きを段階的にやっていくことなのだろうと理解しています。</p>
委員長	<p>ガバメントクラウドファンディングについては、私もあまり理解できていませんでしたが、福井県や奈良市はふるさと納税とセットになっていますので、制度設計をしっかりと行うことが大切だと思います。</p>
委員	<p>資料４の最終ページ、ビジネスパーソンが学び合うビジネス交流スクールにつ</p>

事務局	<p>いて、総合計画の審議会にも参加させてもらっているのですが、市長に意図を聞いたのですが、会社員の交流を想定しているとのことでした。将来的にビジネスまで発展させるのかどうか、目的や対象者について改めてお聞かせください。</p>
事務局	<p>対象は、企業に勤めている方を中心に起業家や住民も含めて考えたいと思います。また、目標として、副業や兼業なども含め、事業計画をつくる場所までやるのか、単純に交流を前提にそれぞれを高め合うものするのかは、これからの検討課題です。</p>
委員長	<p>重点指示事項に関して挙げられている検討課題については、素案を作成する段階ではどのように取り扱えば良いのでしょうか。行政である程度考えて素案を作るのか、あるいは本委員会で議論したほうが良いのでしょうか。</p>
事務局	<p>重点指示事項は市長のマニフェストに掲げられた事項で、今後、市長とお話しいただく機会が必要と考えています。市長の具体的な想いを共有していただいた上で、検討プロセスを進めたいと思います。</p>
委員長	<p>難しい案件だと思うものもありますが、産業ビジョンにどこまで取り込むことが出来るのか、皆様と討議していきたいと思います。1つ1つは重要な視点であり、皆様の意見が集約されているものもあり、ある程度フォーカスしながら、次回以降、検討していきたいと思います。</p> <p>統計データについては、西暦表記と元号表記が混在していますが、西暦表記のほうが推移を見やすいため、できれば統一してください。時系列で2000年代を眺めたほうが変遷もわかりやすいと思います。</p>
委員長	<p>議題はこれですべて終了しました。</p> <p>市民目線で現状を踏まえたご意見を多数いただきました。高齢化が進む本市において、人口動態を踏まえ、また定性的にも状況を押さえながら取り組んでいく必要があります。そうした変化の中で、多様な働き方を支え、新規産業や既存産業を含め多様な経済主体をつないでいくマッチング・連携の仕組み、農福連携と言った新しい社会の可能性に向けた取組、それらを包含したような新たな産業ビジョンについて、次回以降検討していただくことになると思います。</p> <p>今回は改定の方向性の検討で、素案のたたき台などが出てくるのではないかと思いますので、積極的にご意見をいただきたいと思います。</p> <p>今回の議事録は、事務局で作成したものを私が確認し、承認させていただくことにしたいと思いますが、了承いただけますか。</p> <p>ー特に意見なし、了承ー</p>
委員長	<p>では、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>4、閉会</p> <hr/> <p>円滑な会議の進行をありがとうございました。</p>

委員の皆様におかれましては、活発な議論をいただき誠にありがとうございました。

会議の進め方を含めて、本日時間の都合上、ご発言いただけなかったポイントなどがありましたら、ご意見・ご提案シートでご提供くださいますようお願いいたします。8月8日（火）までに事務局までメールで送信してください。

なお、次回の会議は9月8日（金）を予定しております。

それでは、長時間にわたるご議論をありがとうございました。

オンラインでご参加の方はズームミーティングからの退出をお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。